

民間の企業もがんばっています！ 車両用鉄製品を90%リサイクル 全員で環境活動に取り組んでいます！

JR東日本長野総合車両センター



ISO事務局 助役
中山光彦さん



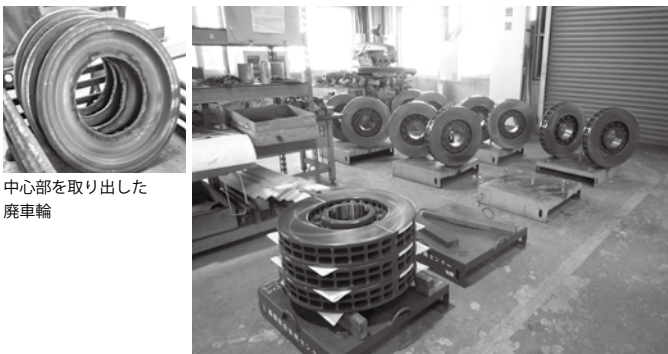
長野総合車両センター正門入口

JR東日本長野総合車両センターは、ながの^{*}エコ・サークル認定事業所のゴールドランク指定を受ける22社のひとつ。平成16年に「ISO14001」を取得して以来、センター全体で環境活動に取り組んでいます。



HB-E 300 リゾートびゅうふるさと

な改善もありますし、節電や節水、ごみの減量化など一人ひとりがやるべきこともあります。3年間ごとに中期計画を立てて取り組み、今年3期目になります」と話して下さい。たのは中山光彦ISO事務局助役。なかでも鉄の再利用は、90%という高いリサイクル率を誇っているそうです。「車両に使われているブレーキ部品の多くは、当センターで製造しており、使用済みとなった製品を回収し、それを溶かして再製造したり、また使用済み車輪の中心部だけ



中心部を取り出した
廃車輪

新たなブレーキ部品に再利用

を取り出して削り出し、新しくディスク座という製品に生まれ変わらせています。広い構内は、車両の車検場でもあり、鑄造工場でもあり、博物館のようでもあります。ここで働く人は協力会社も含めて約400名。昨秋に行われた信州DCキャンパインで走ったハイブリッド車両も、ここでメンテナンスされています。

BDF使用のバス



使用済みの天ぷら油が、軽油代わりのエネルギーバイオディーゼル燃料(BDF)になるって知って

いましたか？

長野市で天ぷら油の回収からBDF化までトータルに手掛けている直富商事環境部を訪ねて、その仕組みを見せていただきました。

「使用した天ぷら油には水分も多く含まれているんです。そこで、まず油と水分を分離します」と解説してください。これは、工場長であり、リサイクルの担当でもある三井さん。分離した油は、工業用として再利用されるほか、ここではさらに加工し、軽油と同様にクルマの燃料にも使えるBDFになっています。

ごみ減らし隊がゆく!!

▶使い終わった天ぷら油を...

クルマの燃料にリサイクル!?



【直富商事環境部】

●見学受け付けています！☎026-222-1884(代)まで連絡を●

「仕組みは割とシンプルで、せっけん作りの考え方で途中までは同じ。現在、市内を走る路線バスの一部や自社内で使うフォークリフトなどにBDFを使っています。」

「いまのところ、回収しているのはスーパー、食堂、コンビニなどの業務用の油が90%ですが、家庭の油はサンデーリサイクルで回収していますので、そこへ持って行ってください。」

「まだまだ一般家庭の廃油をすべて回収リサイクルとはいきませんが、長野市がめざす「バイオオースタウン構想の二環でもあり、これから広がっていくような予感です。」

「ただし、長野は寒冷地なので、冬場はどうしてもBDFは弱いんですよね。まだまだ解決するべき点はたくさんあるものの、夢いっぱいBDFです。」

天ぷら油ガソリンBDF燃料の車が走った後は、おいしい天ぷら

の匂いが

します！

そんなク

ルマに出

会ったら



市場工場工場長 三井さん



環境部部長 清水さん

※「ながのエコ・サークル」とは、ごみの減量やリサイクルに配慮した事業に取り組んでいる事業所を長野市が認定するものです。